

新ましこ未来計画外部検証委員会（人財育成分野）議事録

日時	平成 29 年 5 月 15 日(月) 19:00～21:00	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	鮎沢委員、加藤委員、久野委員、森田委員
	職員	岡教育長、小堀健康福祉課長、木村学校教育課長、桜井生涯学習課長
	事務局	吉永、岩崎
配布資料	次第、「現時点での進捗状況」の考え方、成果指標・重要業績評価指標、一部見直しについて、推進状況総括シート、推進シート、事前質問・回答一覧	

発言者	発言要旨
事務局	1. 開会 2. 出席者紹介 3. 配布資料確認 4. 案件 (1) あいさつ・概要説明
教育長	第4四半期・本年度総括シートにより説明
委員	(2) 施策ごとの検証 OP.46 施策1 強い心を持つ人財の育成 健康福祉課のシートの進捗状況 10%となっている。
健康福祉課長	毎月ブックスタートを実施している。10%は誤りではないかと考えるが、確認する。
委員	100%の誤りではないか。
委員	ファーストブック、セカンドブックとは具体的にどのようなものか。
健康福祉課長	9ヶ月、3歳児と発達段階にあわせた絵本を差し上げている。家に帰って読み聞かせしてもらえるよう実施している。
委員	すごくよい事業だと思う。自分が子育てしている時にはなかった。小学生になると読み聞かせの時間があり、本に親しめる。中学生は読書の好き嫌いもあるだろうが、図書室が充実していないと感じる。読書習慣のためにも小さいうちから本に触れることが大切である。
委員	マシコット体操とは具体的にどのように推進するのか。
健康福祉課長	健康増進の手段として利用する。歩け歩け大会の準備運動として、また、学校や生

	涯学習関係でも利用していただけるようにしたい。
委員	体力向上プログラムはこども向けのものができてよいので、大人向けもあるとよい。
委員	マシコット体操は、広く使われているラジオ体操とどう住み分けするか。地区ぐるみ体育祭、学校でも使用されている。ラジオ体操は第1・第2があったが、第2は知っている人が少なくなり、今では第1が主流となっている。体操は高齢者向け、若者向けが同じメニューだと体力の差があり難しい。第1・第2のように分けることもありか。
委員	NHK の体操では、座って行えるものがあり、多くの方が行えるよう工夫している。
委員	学校図書館司書は1人が巡回するのか。
学校教育課長	まずは1人お願いしていきたい。
委員	現在図書ボランティアがいると思うが、変わらないか。
学校教育課長	ボランティアさんは強力な力になっているので、継続していただくことを考えている。
委員	「保育園、認定こども園に対し、つよい心になるための保育・教育の実施について協力を依頼する」とは具体的にどのようなことをするのか。
健康福祉課長	当初は予定していたが、お泊り保育などすでに保育園認定こども園で実施している事業があるので、継続して実施していただいている。
委員	「レシピの紹介」は、県では無料で配布していただけるが、町でも無料で配布するなどして情報発信を行うのか。また、早寝・早起・朝ごはんについて、就学児検診時にお話をさせていただいている。幼稚園入園児など、より小さいうちに生活習慣を身につけられるよう実施し、全国協議会が作成するパンフレットの配布なども併せて行うのはいかがか。
健康福祉課長	乳幼児健診、町民まつりなどでの配布等を検討したい。
委員	QU はアンケートなので実施することよりもその結果をどう生かすかが重要である。最前線にいる担任の先生が結果を踏まえて、学級をどうまとめていくかが本来の目的であるが、現実的には検証は難しいところである。担任、学校側で有効に活用できるよう継続的に支援していくことが、重要である。

教育長	QU は学級内のいじめの可能性があるかもしれないという子、満足度が低い子が顕著にあらわれる調査である。次年度はデータ結果を保護者に返し、お子さんの状態を確認していただけるようにする予定である。
委員	P.48 施策2 学びを通して社会に貢献できる人財の育成 「町民活動支援センター」「子育て支援センター」「学習室」のイメージ等について伺いたい。
事務局	子育て支援センターは健康福祉課で進めている。町民活動支援センターは、他自治体では NPO 法人等に委託しているケースが多い。これらの施設の一体的な整備も検討した。 新未来計画は、具体的行動の内容だけでなく、その先の目標を見据え、どのように連携し成果を上げていくかを検討している。
委員	全国学力テスト4位について、全国全自治体でのランキングではなく、都道府県ランキング内での4位相当ということであり表現方法が難しい。4位は適切ではないような印象もある。
学校教育課長	広報ましこに記事を掲載させていただいたが、点数は公表していない、都道府県正答率と比較するという方法であるため、順位としては曖昧な点もある。
委員	ネットでも都道府県ランキングを見ることができ、点数も出している。それを見てしまうと、益子町の大体の点数もわかってしまう。性質を考えると「4位相当」の表現が適切か、正確さを出すなら「4位」と表現すべきか。
教育長	全市町村のデータは公開されていないため、順位は現実的に算出不可能である。都道府県ランキング内での位置づけを表現している。学年によってもバラつきがあるが、学力向上には栃木県も力を入れている。
委員	英検について、子どもたちの関心はあがっているか。
学校教育課長	周知が足りないのか、厳しいところがある。平成29年度第1回目の検定は部活の大会と同日となり、3級は中学3年修了レベルであることから、年度末の第3回が検定受験にふさわしいが受験シーズンのため、時間的に忙しい点があるかもしれない。
委員	補助制度により以前より受けやすくなったと思うが、学校の勉強と英検の勉強は違いもあることから、学校の勉強だけでは足りない。また、1次試験は受かっても2次試験が別日となるため、部活の大会と日程が重なってしまった場合に、受け直し

	なければならず、検定料がまたかかってしまう。3級まで持っていると言験に有利になるという話も聞くがどうか。
教育長	大学受験では条件にしている大学もあるが、高校では明確ではない。特色選抜入試では学校によって異なる。
委員	P.50 施策3 たくましく生きるための人財の育成 JFA こころのプロジェクトはサッカー教室か。
学校教育課長	日本サッカー協会が行っている活動で、前半はメンバー全員で協力しないとできないゲーム、後半はトップアスリートを目指す、また夢について語り合う内容になっている。5年生を対象としているが、東京オリンピック出場は現5年生までぐらいまでが対象年齢となっており、3年間事業を実施したためノウハウは学校に蓄積できたことから、平成28年度で事業を終了した。
教育長	スポーツクラブ参加率の増加は、スポーツ少年団だけでなく、ましこチャレンジクラブの成果でもある。
委員	体力向上プログラムはとてもよいものであると思うが、中学生は体力に合わせてハードなことをさせている。必要だとは思いますが、子どもは先生の期待に応えようとがんばりすぎてしまい、体を壊してしまっている例があるため、その見極めをしっかりとっていただきたい。
委員	部活の外部指導者の問題は変わらず難しいか。
教育長	本当に必要な人は頼むが、そうでない場合は頼まない。文部科学省では外部指導者だけで大会の引率までできるよう規定の整備をしている。現在、指導者養成講座を行っているので、そこから部活の指導に回っていただけるようになればよい。ただし、中体連では大会の運営・審判もあることや、引率中の事故の責任問題をどうするかなどの課題もある。
委員	中学校の部活の顧問は、どのように決定するのか。
教育長	基本的には異動などで顧問が変わる部活を後任が行うことが多い。経験者がいればその教員、経験がない教員もいる。後から経験者が入ってくれば譲る場合もある。
委員	P.52 施策4 人財が育つ環境づくり ましこ検定は何人受検したか。
生涯学習課長	43人が受検し、その内39人が合格した。

委員	益子は観光地ということだが、タクシーで観光する客はいるのか。京都のタクシー運転手は京都検定を受検している。
事務局	町長は以前からタクシーでの観光、そして案内できる展開を期待している。
委員	旅行会社と提携して、ましこツアーをプランとして開発してもよい。小宅や道の駅などアクセスが不便な見所もある。
事務局	(3) 新ましこ未来計画の一部見直しについて KPI について PDCA サイクルを用いて見直しを行う。今回の人財分野は KPI や成果指標の見直しで、実施以前では KPI の実績値がなかったものについての数値を得ることができたため、資料のとおり目標値を新たに設定するものである。
委員	「子育て支援教室に参加し満足した人の割合」は具体的にどのような調査か。
健康福祉課長	保健センター事業の満足度を参加者に 5 段階でアンケート調査したものである。今回の分母は 70 名。開催は年間 2 回。今年度はその他の教室もあるため、そこでもアンケートを実施し、より精度の高い調査にしていきたい。
委員	生涯学習課の「スポーツクラブ参加率は」町内のみか。町外のスポーツクラブに通っているお子さんもいると思うが。
教育長	町内外、そしてチャレンジクラブをすべて含んでいる。
委員	「子育て支援教室」満足度の目標 100% というのは、現実的にどうか。
健康福祉課長	現状の実績値が高かったためこのような形になったが、すべての方に満足していただきたいと考える。
委員	子育てサークルについては、社会福祉協議会にもあるが、町との関係はどうか。
健康福祉課長	町と社会福祉協議会とは連携して事業を開催している。
事務局	数値については資料のとおりとしてよろしいか。
全委員	了承
事務局	(4) その他 外部検証・意見シートは今月中目安に、本日または後日ご提出願います。

	5. 閉会
--	-------

外部検証委員会（人財育成分野）次第

日時 平成 29 年 5 月 15 日（月）午後 7 時から
場所 益子町役場休憩室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

（1）概要説明（教育長）

（2）施策ごとの検証（シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

（3）新ましこ未来計画の一部見直しについて（概要説明：事務局、質疑対応：担当課）

（4）その他

5 閉会

配布資料

- 1 本次第
- 2 「現時点での進捗状況」の考え方（成果指標等の一覧）
- 3 新ましこ未来計画の一部見直しについて（人財育成分野）

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後 10 日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新未来計画 事前質問・回答一覧(平成28年度 下半期)

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
1	46	学校教育課	①QUを実施することより診断後の学校、担任のやるべきことが実施されているかが重要である。	①について 昨年度は教育委員会主催でQUに関する講話を実施した。また、学校独自でも2校が現職教育でQU研修を実施した。診断後は学級担任を中心に、見取りや分析を行い、教育相談等での活用を励行した。
2	48	学校教育課	①全国学力テストの全国4位とは具体的にどういうことか。	①について 各都道府県の平均点順位の第4位の点数と益子町立中学3年生の平均点が同等である。

新ましこ未来計画の一部見直しについて（人財育成分野）

初年度である平成28年度分事業を実施し内部検証を行った結果、一部見直しを行うことが適当ではないかと考えます。

ついては、外部検証委員の皆様のご意見等をお伺いしたいと思います。

1 成果指標・重要業績評価指標（KPI）について

（1）成果指標「子育て・教育をしてよかったと思う人」の割合（学校教育課）

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修正前	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増
修正後	86.5% (実績値)	87.1% (実績値)	87.5%	88.0%	88.5%	89.0%

①算出の根拠

H27、H28 の実績値を基に前年度増となるように設定。

②見直しの理由

具体的な数値を設定し、より指標の進捗状況を分かりやすくするため。

（2）KPI「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合（健康福祉課）

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修正前	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増
修正後	未実施	98.6% (実績値)	99.0%	100%	100%	100%

①算出の根拠

H28 の実績値を基に前年度増となるよう、また参加者すべての期待に応えられるように設定。

②見直しの理由

具体的な数値を設定し、より指標の進捗状況を分かりやすくするため。

（3）KPI「小学生のスポーツクラブ参加率」（生涯学習課）

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修正前	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増
修正後	56.4% (実績値)	62.9% (実績値)	64.0%	65.0%	66.0%	67.0%

①算出の根拠

スポーツ教室などを通して小学生の関心を高め、H27、H28 の実績値を基に前年度増となるよう設定。

②見直しの理由

具体的な数値を設定し、より指標の進捗状況を分かりやすくするため。

(4) KPI「ましこ検定の合格者数」(生涯学習課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修正前	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増
修正後	未実施	39 人 (実績値)	45 人	50 人	55 人	60 人

①算出の根拠

H28 の実績値を基に前年度増となるように設定。

②見直しの理由

具体的な数値を設定し、より指標の進捗状況を分かりやすくするため。

(5) KPI「遊びの達人登録者数」(生涯学習課)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修正前	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増	前年度増
修正後	未実施	2 人 (実績値)	5 人	10 人	15 人	20 人

①算出の根拠

毎年遊びの体験関連の講座を 5 回開催し、各回に達人の新規登録者に講師として加わってもらうこととし、毎年 5 名ずつ増加させていくこととして設定。

②見直しの理由

具体的な数値を設定し、より指標の進捗状況を分かりやすくするため。

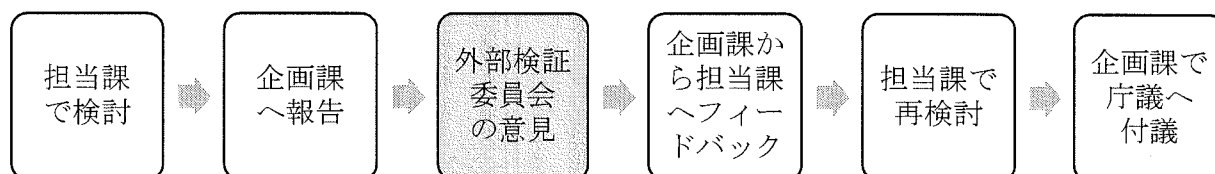
参考

新未来計画の見直しの手続きについて

1 PDCA について

別紙をご参照願います。

2 見直しの流れ



第3節 新ましこ未来計画の進捗管理（マネジメント）

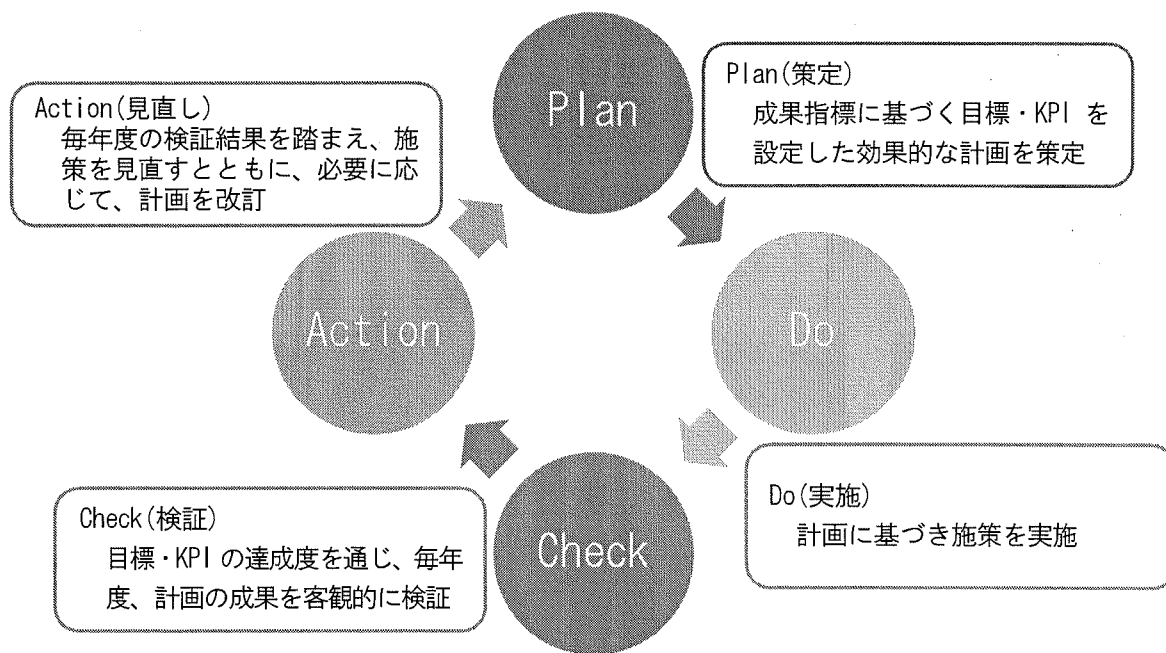
■ PDCA サイクル

本計画は、住民、事業者、地域、団体、議会、行政など町全体で共有し、協働で推進する公共計画として位置づけているため、計画の策定(Plan)、実施(Do)、検証(Check)、見直し(Action)の各過程においても、町全体が関わる体制を構築し、高い実効性を確保していくため、PDCAのサイクルを実施し、その期間を1年間とします。

また、めざすべきまちの将来像を実現するため5年間で達成すべき目標として、基本目標に対する成果指標と施策に対する重要業績評価指標(Key Performance Indicator。以下「KPI」という。)を設定することとします。成果指標とKPIは、実施した事業の量(アウトプット)を測るのではなく、その結果によって得られる町民の便益による成果指標(アウトカム)を原則とし、目標を明確にすることによって、共有と成果を重視した取組を展開していきます。

なお、町内はもとより、外部有識者を含めた検証機関を設置し、庁内検証とともに客観的な外部検証による成果指標やKPIの達成度の検証と提言に加え、議会における審議なども踏まえ、必要に応じて本計画の改訂を行うなど、高い実効性を確保し続けることとします。

新ましこ未来計画におけるPDCAサイクル



■ 成果指標などの設定について

本計画の基本目標の成果指標や施策のKPIなどについては、原則として一般に公表されているものを採用します。

なお、公表までに時間を要するものについては、策定時及び検証時に公表されているものを用いることとします。